

第6章 自然環境の現況

1. 生物多様性と外来生物

平成29年6月に日本国内においてヒアリが初めて確認され、大きな注目を集めました。尾道市でも港湾施設等で調査を実施しましたが、ヒアリは確認されていません。

こうした外来生物は、グローバル化した社会においては、常に注意を持つことが求められます。

すでに、オオキンケイギクやブラックバス（オオクチバス）、ブルーギル等のように尾道市でも繁殖をしている外来生物もいます。

一方で固有の種、特に絶滅が危惧される動植物のいくつかも尾道市で確認されています。多様な種が存在できる環境の保全が求められます。

ヒアリ



オオキンケイギク



ブラックバス



ブルーギル



2. 有害鳥獣等

有害鳥獣のうち、特にイノシシについては近年被害が拡大しています。

また、スズメバチの苦情も毎年、一定数が報告されています。

それぞれ担当の部署等により対応を進めていますが、市民の皆様への情報提供を今後も進めています。

○第2次尾道市環境基本計画 成果目標No.4 「有害鳥獣被害金額」

イノシシ



スズメバチ



3. 自然環境を保全する取り組み

藤井川の夕べは、40年以上にわたる地域住民による自然環境保全の取り組みです。河川の浄化、ホタルの繁殖等、地域を挙げた取り組みは一定の成果を上げています。

また向島や瀬戸田における海浜清掃活動等、それぞれの地域において様々な取り組みが進められており、自然環境の保全が図られています。

藤井川の夕べ

